

LEON

NUMAZU
LIONS CLUB



NUMAZU

2011

4

会報 No.724



2/25 市民憲章額贈呈式。児童代表に憲章を手渡す芹澤会長（第五小学校にて）



We Serve

国際協会モットー

“We Serve”

国際テーマ

“希望の光”

334複合地区スローガン

“ありがとう ライオンは世界と共に”

334-C地区スローガン

“利他の心で 同志の絆 あしたに新たな灯を”

クラブスローガン

“目くばり、気くばり、思いやりで We Serve”

沼津ライオンズクラブ



1月 第1例会

新年例会

～芹澤丸、折り返し点に到達～ 順風の中、航海は続く～

1月6日(木)沼津東急ホテルにおいて新年例会が開催されました。昨年度、50周年という大きな節目を無事に迎えた沼津ライオンズクラブの新たな歴史を刻むべくスタートを切った芹澤丸の航海も中間点に達しました。卯年にふさわしく飛躍の年となるようメンバー一同、誓いも新たに大いに盛り上がった新年例会でした。



▲会長挨拶 L. 芹澤

卯年

年男10人衆



- | | |
|----------|----------|
| L. 鈴木 清次 | L. 鈴木善之助 |
| L. 服部 行真 | L. 島田 雷太 |
| L. 渡邊 兼道 | L. 高橋 覚 |
| L. 池田 宏明 | L. 吉池 一行 |
| L. 清水英一郎 | L. 久保田宏明 |



おめでとうございます

- 前年度クラブ会長優秀賞
L. 土屋達郎
- 100%幹事賞
L. 後藤行宏
- モナーク・シェブロン
L. 乾 精治

「古希」ますますお元気で!!



▲乾杯の音頭は L. 土屋誠司



「こいつは春から縁起がイイぜ!!」

和気あいあい。ライオンズは楽し!!



▲L. 田中章生

ビンゴゲーム



▲L. 横山 業



▲L. 小林



▲今年も楽しい例会をお願いします 計画大会委員長 L. 島田

1月 第2例会

前期決算報告・監査報告

1月20日(木)ブケ東海で行われた1月第2例会では前期決算報告ならびに監査報告があり前期決算が承認されました。また、MERLワークショップについてのL.前田利定よりの報告や、新会員板倉正様(スポンサー L.芹澤洸)の入会式もとり行われました。



▲L. 芹澤(洸) 会長挨拶



▲前期決算報告をする
会計L.高橋(寛)



▲MERLワークショップに
ついて報告するL.前田



▲新会員L.板倉

2月 第1例会

YCEプログラム委員会担当例会

2月3日(木)ブケ東海で開催された2月第1例会はYCEプログラム委員会担当で独立行政法人産業技術総合研究所 村尾智氏(理学博士)による「資源開発に対する国際連合とその関係機関の視点」という講演が行われました。昨今話題のレアメタル・レアアースなどにも触れたアカデミックで格調高い講演でありました。

また、例会ではMJF献金者に感謝のしるし‘MJFピン’が贈呈されました。

MJF 献金者

- L.土屋 誠司(20回)
- L.渡邊 章(10回)
- L.横山 業(9回)
- L.服部 行真(8回)
- L.中村 逸郎(7回)
- L.田中 章生(7回)
- L.大古田一郎(6回)
- L.土井 達夫(6回)
- L.市川 洋一(2回)
- L.芹澤 洸(2回)



▲講演する村尾博士



▲例会担当のL.細沼によるローア



**2月 第2例会****MERL(会員)委員会担当例会**

2月17日(木)ブケ東海沼津においてMERL委員会の担当で2月第2例会が行われました。例会に先立ち指名会が行なわれ指名委員長L.土屋(達)より次年度のクラブ役員候補が発表され承認されました。例会では334複合地区第57回年次大会について実行委員会事務局長L.土屋(達)より説明がありました。

また、ライオンズの生き字引のような元ガバナーL.土屋誠司よりの講話は、ベテラン会員はもとよりクラブ歴の浅い会員にとってはライオンズの何たるかを知るよい機会となりました。

2011～2012年度クラブ役員

| | |
|----------|-----------|
| 会長 | L. 前田 利定 |
| 前会長 | L. 芹澤 洸 |
| 第一副会長 | L. 赤堀 肇紀 |
| 第二副会長 | L. 丹澤 忠芳 |
| 幹事 | L. 服部 徹一郎 |
| 会計 | L. 小原 嘉弘 |
| ライオンテーマー | L. 杉山 由博 |
| テールツイスター | L. 外 信之 |
| 会員理事 | L. 竹村 喜次 |
| 2年理事 | L. 長島 暢泰 |
| 2年理事 | L. 金井 隆直 |
| 1年理事 | L. 市川 洋一 |
| 1年理事 | L. 土屋 達郎 |
| 監査委員 | L. 大川 祐輝 |
| 監査委員 | L. 高橋 覚 |



▲指名を受けて挨拶する2011～2012年度会長候補
L.前田利定



ライオンズクラブ国際協会
334 複合地区

第57回年次大会 in 静岡

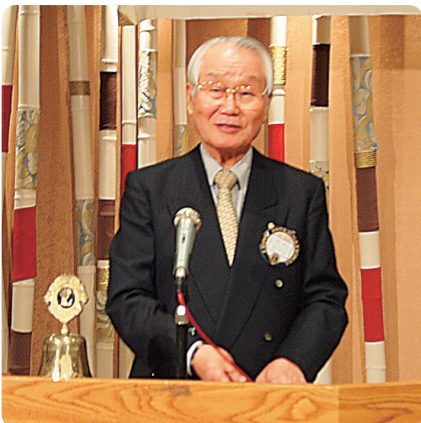
■期日 2011年6月12日(日)

■会場 静岡市・グランシップ

・実行委員会事務局長 L.土屋達郎

・接待部会長 L.後藤行宏

(3Rは全員登録です)



▲元ガバナー L.土屋(誠)による講話



▲L.芹澤(明)、L.外によるローア



市民憲章額贈呈式



▲第五小での贈呈式

2月25日(金)継続アクティビティの市民憲章額贈呈式が行われました。本年度は開北小学校、第五小学校、第五中学校の3校へ寄贈。三役、第一副会長L.前田、副幹事L.服部(殿)らが分担して各校を訪れ、憲章額を贈りました。各校の贈呈式では市民憲章推進協議会役員が市民憲章の意義を話した後、芹澤会長らが憲章額を児童生徒の代表に贈呈。続いて全員で市民憲章を唱和しました。



▲挨拶する会長L.芹澤(五小)

市民憲章推進協議会副会長として子供達に市民憲章を説明するL.竹村(五小)▶



◀児童よりお礼の言葉を受けるL.前田(開北小)

3月 第1例会

青少年指導委員会担当例会



▲講師の碓井宏政氏

3月3日(木)ブケ東海沼津において青少年指導委員会の担当で3月第1例会が催されました。三島ライオンズクラブ会員でもある静岡県自閉症協会・会長 碓井宏政氏に「自閉症の理解のお願い、自閉症を取り巻く現状、自閉症の今後について」と題してご講演いただきました。自閉症とは心の病気ではなく、脳の障害による発達障害であり、身体的な外見では障害がわからないが、ことばの発達には遅れがみられ会話が成立しにくくて、対人関係が苦手。しかし、決まったルールや手順を覚えるとスムーズに行動できるようになり、特定の分野で優れた感覚や力を持っていることもあるなど、自閉症児者への理解を訴えられました。

担当委員長 L.山本のローア▶





3月 第2例会

出席委員会担当例会

3月17日(木)ブケ東海沼津において出席委員会の担当で3月第2例会が行われました。東日本大震災犠牲者に対するの黙祈にひきつづき、新会員L.鈴木和彦(スポンサーL.柏木雅博)、L.溝口辰繁(スポンサーL.足立吉松)の入会式、認証50周年事業会計報告が行われた後、L.土屋英治、L.鈴木邦介の2名の若手メンバーによるメンバースピーチがありました。それぞれ自身の従事されるご商売の現況について語られた後、L.土屋(英)からは東日本大震災直後の逼迫した石油事情の裏話、L.鈴木(邦)からはハイブリッドカーの基礎知識など非常に興味深いスピーチをしていただきました。



▲会長挨拶



新会員L.溝口▶

◀新会員L.鈴木(和)



▲メンバースピーチで熱弁をふるう
L.土屋(英)とL.鈴木(邦)



担当委員長
L.柏木のローア▶



第31回

全日本学童兼
第33回スポーツ少年団

交流野球大会

▶開会式 3月6日(日)沼津市営球場

▶決勝・閉会式 3月26日(土)沼津市営球場

決勝…大岡少年野球団 4 - 3 四小アトムズ
(大岡少年野球団の逆転サヨナラ勝ち)

優勝…大岡少年野球団

2位…四小アトムズ

3位…開北リトルイーグルズ
愛鷹ホークス

(1, 2位チームは県大会へ進出)



▲会長より優勝チームへ沼津ライオンズカップを授与

元会員 山上明倫様を偲んで

山上明倫先生との思い出



平成23年1月25日逝去(享年77歳)
昭和9年2月23日生
ライオン歴 1978.10入会
2002~2003年度会長

去る1月25日に逝去された山上先生の思い出をL.鈴木忠一と語り合ったのでそれを書き綴ってみます。先生は、とてもお洒落で笑みを絶やさず温厚篤実なお医者さんでした。また、寛容でもあり、2002年会長に就任されたとき『私は良く分からないから君たちに任せる』と明言され失敗にも目をつぶって下さいました。しかし、ご自身がこうだと決めたことは絶対に曲げない頑固一徹な一面もありました。会長時代の一番の思い出は、何と言っても黒柳徹子氏のチャリティ講演会でしょう。会長就任前から心ひそかに温めていた事業案だったので実現可能となった時には大層喜ばれました。先生の熱き思いがメンバーの積極的な行動に結びつき大勢の来場者を迎え大成功に終わったのだと思います。先生が掲げたスローガン「奉仕の本質を考え、原点を思い起こそう」を実践できたように思われます。2002年11月3日に開催された倉敷ライオンズクラブの認証45周年記念式典で大勢の前で先生が生演奏をバックに英語でかっこ良く歌った「My Way」はとても心に残っています。“困難にも出くわしたけどすべての道を一生懸命旅し

愛の 献眼提供

2月12日

飯沼 宏様 (元会員) より

3月31日

植松盛太郎様 (元会員) より

尊い献眼をいただきました。
感謝状を伝達させていただきました。

てきた、信ずるままに”いつもそういう信念で精一杯生きてこられたのではないかと推察します。御殿場にある国立駿河療養所を奉仕活動のために訪ねたことは医師としての視点をいかした企画だったと思います。ライオンズ国際協会の大阪国際大会に参加の帰りに大型台風に合い、新幹線がストップしたのでレンタカーを借りて4~5人で帰沼したことは、今となっては良い思い出になっています。我々が三役を退任したのちも昨年まで家族ぐるみでお付き合いしていただき、ゴルフ、食事、カラオケと随分な回数を数えました。ここ1~2年は、『私の内臓は、病であっちこち切り取られている。こうして生きていることは奇跡ですよ。』と冗談めいた言葉をしばしば口にされていました。生と死は並行していることを常に意識されていたのではないかと思います。先生と出会って実に多くのことを教えていただきました。ご冥福をお祈りいたします。

L.赤堀肇紀